

●資料 地域の取組み事例

1 井田協友会

町会長 松本 登

1. 団体概要

井田協友会は戦後間もない昭和26年、犯罪などが横行していた地域の安全を守ろうとする住民同士の取り組みをきっかけとして発足しました。地域は中原区井田三舞町と井田杉山町にまたがり、約600世帯が加入している町内会です。

2. 主な活動内容

地域の住民自治組織である自治会・町内会として、住みよいまちづくりを目指して、一般的な以下のような活動を行っています。

- ①災害から地域を守る自主防災活動
- ②犯罪などがない安心して暮らせる“まちづくり”のためのパトロールや防犯灯の設置・維持管理
- ③ごみ集積場の維持管理、資源分別収集、公園・道路の清掃など地域の美化活動
- ④祭り・盆踊りなどの地域行事の実施など人と人とのふれあいによる地域のつながりの創出
- ⑤行政情報（「市政だより」「議会かわさき」など）の提供など市民と行政との橋渡し

3. 活動拠点

井田協友会の地区のほぼ中心にある井田杉山町公園（約1200㎡）は、町内会活動の拠点として、自主防災組織による防災訓練、地域交流のためのフリーマーケットやお祭り、子ども会や老人会などの日常活動が行われています。また、公園の清掃を通じて、地域の人々の交流を図るという効果も得られています。

4. 活動の特徴

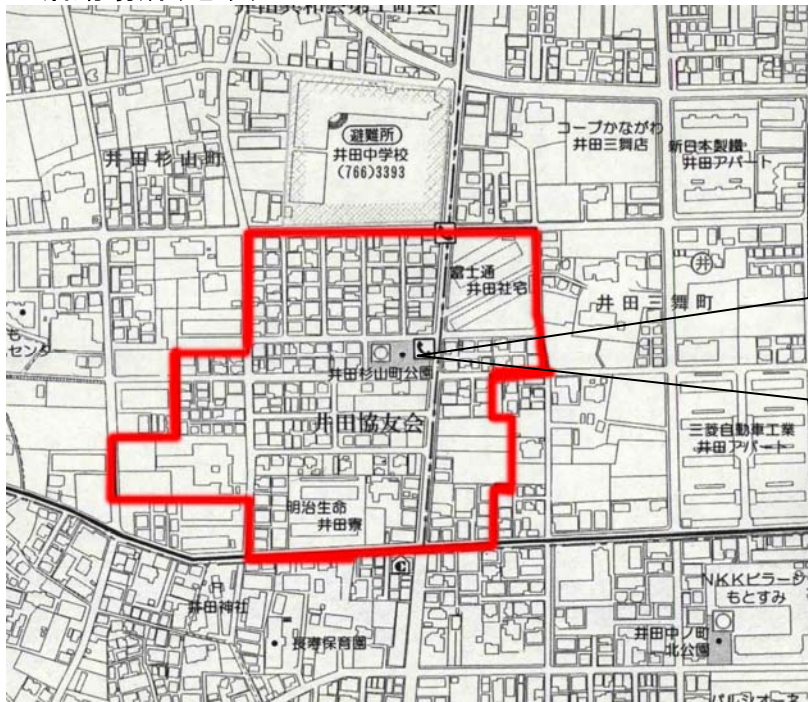
井田協友会は、町内会としては比較的規模が小さく、発足当時から地区内に企業の社宅が多くあり、住民間のまとまりや連帯意識が強いという特徴がありました。それは、設立当初から発行され、現在、通算210号に達している会報「みすぎ」にも現れており、町内の情報共有に欠かせないものになっています。

この連帯意識は現在も受け継がれ、井田杉山町公園を地域による自主的な維持・管理で行ったり（公園管理運営協議会）、同地区内のマンション建築などの開発行為に対して地区全体のまちづくりの視点から開発業者等との調整をはかるために「井田みすぎ地区まちづくり協議会」を立ち上げるなど、自主的なまちづくりに取り組んでいます。最近では、100戸規模のマンションが建設（又は建設計画）されていますが、建設計画の段階から開発業者や入居者に地域活動に対する理解を求め、こうしたマンション住民の地域活動への参加も進んでいます。

5. 活動における課題等

- 住民の自治意識の醸成⇒メッセージの発信、まめな働きかけ、活動と成果の「見える化」
- 町内会運営の担い手の世代交代対応⇒日頃から、人材発掘と育成を心掛ける
- 広域的まちづくりの推進、周辺町内会との連携⇒支援の制度化、「まちづくり育成条例」の早期制定

■ 活動場所(地域)



井田杉山町公園

案内図

■ 活動の様子



防災訓練



夏の公園での打ち水大作戦



井田神社 秋季祭典



フリーマーケット

●資料 地域の取組み事例

2 特定非営利活動法人 グループリビング川崎(COCO宮内)

理事長 原 眞澄美

1. 団体概要

グループリビング川崎は、高齢者住宅「COCO宮内」の入居者が自らのことを主体的に決め、お互いに助け合って暮らしていく、それを地域が様々な形でバックアップしていくというグループリビングの暮らし方を広めていくことを目的に設立され、高齢者のグループリビングである「COCO宮内」の運営支援等を主な活動として行っています。

2. 主な活動内容

- グループリビング「COCO宮内」の入居者の生活支援・イベント開催の支援を行う。
- 入居者と地域の人々との交流の場、アトリエ21(趣味の教室)の運営を行う。
- ★ 併設されている地域の憩いの場として「カフェBE BORN」、小学校低学年児童を放課後預かる「宮内こども教室」、デイサービスによる「パワーリハビリテーション」、「ピアノ教室」とも連携をとって協力して活動しています。

3. 活動拠点

グループリビング川崎の活動拠点は、多機能住宅として建設された「ガーデン桜式番館」です。ここは、理事長である原眞澄美さんが、自身の親の介護の経験から、高齢者の自立的、主体的な暮らし、仲間との共生、地域とのふれあいができる施設をつくりたいという思いに賛同した人たちともに作られました。

入居する高齢者を中心に地域の人々が交流する場所として、平成16年4月から3年間、市の「安心ハウス交流支援モデル事業」として地域交流イベントなどのモデル事業を実施してきました。

4. 活動の特徴

COCO宮内では、「自立と共生」を合言葉に高齢者である入居者が主体的に自らの暮らし方を決めることを目標にして、元気でいきいきと暮らしていけるよう地域とのふれあいを様々な形で行っています。

グループリビング川崎は、COCO宮内の運営のため、入居者の食事づくり、施設内の清掃、生活サポートなどを地域の人々※が行っています。そして、COCO宮内での活動を重ねるうちに、入居者と参加者相互の信頼関係が生まれ、ここに関わる地域の人々のつながりは強まっています。

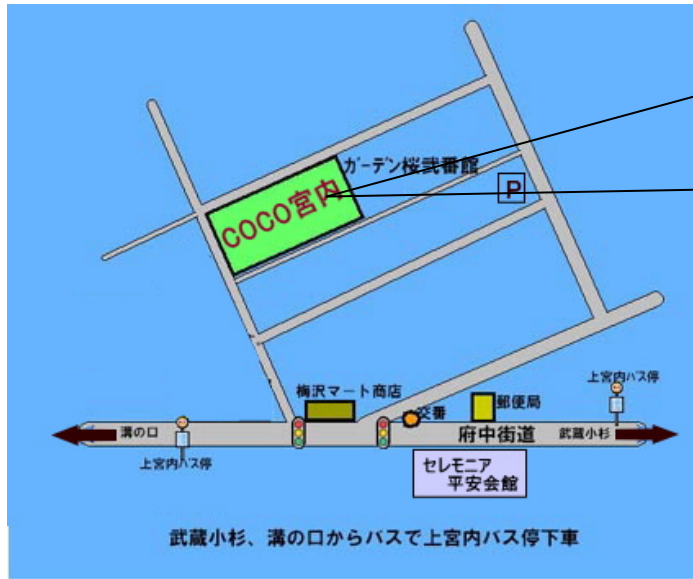
※ 約30人のスタッフが入居者から集める家事援助費から支給される賃金による有償ボランティアで活動を支えています。

5. 活動における課題等

○ 活動資金の不足

- ・3つのサポートの中で食事づくり、清掃は、入居者から集める家事援助費(月額約30万円)で足りるが、生活サポートは、全額寄附(月10万円)による。
- ・営利を目的としていないため、入居者が支払う必要最小限の生活費をもとに施設の運営を行っているため、税金などの固定費の負担は考慮して欲しい。

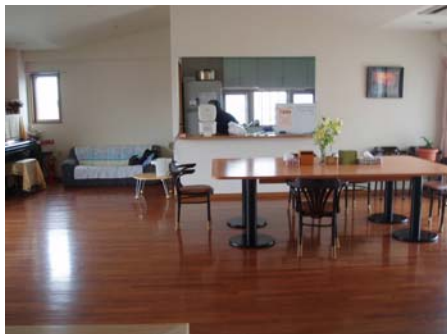
■ 活動場所(地域)



案内図 (グループリビング川崎のHPより)



■ 活動の様子



3階入居者用リビング・食堂



1階アトリエ21



「カフェBE BORN」



「COCOへ行こう」

●資料 地域の取組み事例

3 地域ふれあい”つきやまサロン”

代表 遠藤 敦子

2. 団体概要

閉園された幼稚園の教室を活用して、0歳児から高齢者までが参加する自主活動を行っている地域の相互ボランティア活動団体です。活動内容は心身の健康づくりから趣味、防犯・防災にいたるまで幅広く、「地域ふれあい拠点」として、住みよいまちづくりを目指して地域に参加を呼びかけています。

2. 主な活動内容

①生涯現役、高齢ロマンの心身健康・体力維持学習講座と社会参加、②子育て支援・安全見守り隊参加、③おはやし親子交流、④とどろき緑地を親しむ・清掃、⑤防犯・防災への自主参加などの活動を行っています。

3. 活動拠点

つきやまサロンの活動拠点は、西丸子小学校の敷地内にある閉園された旧西丸子幼稚園の教室です。同幼稚園の保護者OB会から発展したつきやまサロンは、閉園された幼稚園の教室を地域の協力を得ながら地域交流の場として活用しています。小学校の敷地内にあるため、生徒との交流も盛んです。

4. 活動の特徴

つきやまサロンの合言葉は「相互ボランティア」です。つきやまサロンの様々な自主活動(太極拳、絵手紙、エコ手芸、折り紙アート、小林グライダーなど)は講師も生徒も同じ地域の人々です。地域の人々がそれぞれの得意分野を活かして講師を務めて相互に教えあっています。

また、平成19年度には、高齢者が地域でいきいきと暮らすための介護予防事業のひとつの「すこやか活動」にも認定されるなど、地域団体と連携・協力を深めながら活動を行っています。

5. 活動における課題等

- さらに活動への参加者を増やすために地域に向かってどのように呼びかけていけばよいか。
- 車椅子補助(雨天時の移動)などを担うことができる参加者が少ない。
- 若い子育て世代(親子)の活動支援などにより若い世代との関わりを増やしていきたい。

■ 活動場所(地域)



案内図



■ 活動の様子



小林グライダー教室



隣接するわくわくプラザとの交流も行っています



手作りのお昼ごはん(すこやか活動)



講師を招いての絵手紙教室